



【第7回】deleteC がん治療研究公募 2025 (2テーマ、総額1,000万円以上)

deleteCでは、がんを治せる病気にするため、がん治療研究を推進する医療者・医学研究者に対する寄付、および啓発活動を行っています。

2024年度は2名の研究者に対し、各500万円、総額1,000万円を寄付しました。また、受賞者の想いや研究内容に関する動画コンテンツを制作し、啓発活動も行いました。本年度も寄付と啓発を通じて、がん治療研究を応援します。

募集テーマ

がんを治せる病気にすることを目指した、革新的な臨床研究や橋渡し研究（以下「がん治療研究」）を主な対象とします。また、がん治療の未来を変える基礎研究、がん治療研究の進歩につながる人材育成や研究、医療の環境を変革するプロジェクトなども対象となります。多くの市民や企業から支えられている本プロジェクトでは、がんを治せる病気にしたいと思うみんなの希望となり、応援の輪がさらに広がるテーマを募集しています。

応募必須条件

- 医療関係者・研究者であること
- 啓発動画などのコンテンツ作成のための取材にご協力いただけること
- 2026年2月上旬開催予定の授賞式にご参加いただけること
- 受賞1年半後に、寄付・啓発対象テーマの進捗・成果と寄付金用途をご報告いただけること
- 研究発表の際にはdeleteCからの支援を謝辞に表記いただけること

募集期間・応募方法

募集期間： 2025年 4月 8日(火) 00:00 ~ 2025年 6月 4日(水) 23:59 時間厳守

応募方法： deleteC公募選考の特設ホームページをご確認ください。

<https://www.delete-c.com/medical-research>



選考スケジュール・選考方法

4月8日(火)～
6月4日(水)

募集期間

6月4日(水)～
8月下旬

書類選考

9月2日(火)～
9月6日(土)

Web選考

9月下旬

寄付・啓発対象者の
決定

2026年2月上旬 授賞式 deleteC 2026 -HOPE-にて発表

deleteC選考委員会

医療者選考委員・企業選考委員・deleteC選考委員により、選考しています。

医療者選考委員

順不同・敬称略



公益財団法人がん研究会
がんプレジジョン医療研究センター
所長
一般社団法人がん医療創生機構 理事長

大津敦



一般社団法人
CSRプロジェクト
代表理事

桜井なおみ



埼玉医科大学国際医療センター
婦人科腫瘍科 客員教授
国際医療福祉大学 産婦人科
特任教授

藤原恵一



国立研究開発法人
国立がん研究センター東病院
呼吸器外科長

坪井正博



東京大学医科学研究所附属病院
腫瘍・総合内科 教授
東京大学医学部附属病院
腫瘍センター長

朴成和



慶應義塾大学医学部
がんゲノム医療センター
センター長

西原広史



社会医療法人 博愛会
相良病院
院長

大野真司



愛知県がんセンター研究所
がん標的治療TR分野 分野長
病院ゲノム医療センター
センター長

衣斐寛倫



京都大学大学院医学研究科
早期医療開発学
教授

中島貴子



和泉市立総合医療センター総長
近畿大学医学部
特別招聘研究教授

光富徹哉

記載項目および評価のポイント

申請書記載項目：項目に対する記載内容に基づき、選考委員による書類選考・Web面談をおこないます。

- 申請者氏名
- 申請者所属、職位
- 研究テーマ
- 研究の概要(研究の背景、目的、研究デザイン、主な評価項目など 800字以内)
- 研究の意義、患者さんへの寄与、もたらす希望(250字以内)
- 研究のアピールポイント(250字以内)
- 研究がもたらす3年後や5年後の展望、未来像(250字以内)
- 研究の背景と現在の課題、研究目的(1,000字以内)
- 研究計画(研究デザイン、対象、評価方法、評価項目、研究期間など)
- deleteCによる寄付・啓発によるサポートを必要とする理由
- 研究に関してdeleteCを応援する人々に伝えたいこと
- 倫理面への配慮(遵守すべき指針等や倫理審査委員会での審議状況)
- 応募テーマを完遂するために必要な資金の総額と年度ごとの必要額、準備状況(スポンサーの有無など)
- deleteCからの寄付金の希望金額とその資金用途
- 研究機関名称、研究責任者
- 応募に際した研究責任者の了承の有無
- 本研究における応募者の立場/役割
- 応募者の略歴
- 本研究に関係のある応募者の研究業績
- 研究カテゴリー

評価のポイント(下記の4点を中心に、書類選考、Web選考において評価を行います。)

- * 応援する人の希望になる研究・プロジェクト
- * deleteCによる寄付・啓発の必要性が高い研究・プロジェクト
- * deleteCがサポートすることで、意義や面白さが伝わり、みんなが応援したくなる研究・プロジェクト
- * 科学的、社会的価値が高い研究・プロジェクト

(お願い) 書類選考に通過した際には、Web選考を実施します。
応募フォームにおいてWeb選考の希望日時をお伺いしておりますので、ご回答をお願いします。



応募はこちらから→

deleteCの寄付実績

2019年度（2020年2月）以降、毎年授賞式「deleteC -HOPE-」を開催し、計5,000万円以上の寄付と啓発にて医療者・研究者を応援しています。



群馬大学 重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター
講師
尾池 貴洋
日本がリードする革新的がん治療「重粒子線治療」の個別最適化を目指した基礎・臨床研究



関西医科大学附属光免疫医学研究所腫瘍病理学部門
学長特命教授
近藤 英作
次世代創薬モダリティ、ペプチドドラッグコンジュゲート PDC、ナノ化学融合ペプチド技術で挑む膵がん治療



東京大学 大学院医学系研究科 衛生学准教授
加藤 洋人
がん組織からがん治療抗体を見つける！
～がん患者から未来の臨床応用までバトンを繋ぐ～



愛知県がんセンター ゲノム医療センター
がんゲノム医療室・乳腺科 医長
能澤 一樹
日本のドラッグロスをなくす！
周術期乳癌を対象とした新規薬剤開発に関する持続可能なプラットフォーム試験 (S-FACT 試験：JCOG2205)



愛知県がんセンター 薬物療法部 医長
谷口 浩也
がんゲノム医療難民を減らせ！
～かかりつけ病院と協力して行う完全リモート治療の実施～



兵庫県立がんセンター
腫瘍内科部長
松本 光史
低再発リスクI期ER/and or PgR陽性乳癌への温存術後残存乳房照射省略を検証する研究 (NRG BR-007試験：DEBRA)



近畿大学 医学部 腫瘍内科部門
医学部講師
川上 尚人
MSI-H胃がんに対する1次治療としてのニボルマブ+イピリムマブ併用療法第II相試験 (NO LIMIT試験)



国立がん研究センター中央病院
小児腫瘍科/臨床研究支援部門
外来研究員
石丸 紗恵
小児がんに対する国際共同試験実施体制の構築～ドラッグ・ラグ解消に向けて～



慶応義塾大学医学部
先端医学研究所 特任助教
大槻 雄士
がん特異的代謝機構に基づく
新規放射線治療併用増感剤の研究開発



東京大学医科学研究所附属病院
緩和医療・先端臨床腫瘍科
藤原 紀子
臨床研究への看護師の参画について～研究参加者を守り、研究の質向上のためのリサーチナースの普及・啓発



埼玉医科大学国際医療センター
婦人科腫瘍科 助教
奥野 彰
早期子宮頸がんに対するセンチネルリンパ節生検併用による侵襲の軽減とQOL改善を目指した標準治療法確立のための国際共同第III相試験



名古屋大学医学部付属病院
ゲノム医療センター病院 講師
奥野 友介
網羅的遺伝子解析による
小児がんの治療法成績改善

※受賞時の所属を記載しています



deleteC法人概要

delete



団体名 : 認定NPO法人 deleteC
(2022年9月22日交付・認定番号 4 生都管第703号)

設立 : 2019年 9月 5日

代表 : 代表理事 小国 士朗

- 事業内容 :
- (1) ロゴ等を活用したがん啓発事業
 - (2) がん啓発イベント事業
 - (3) がん医学研究に対する寄付・助成事業
 - (4) がん医学研究に関する事業提供・啓発事業
 - (5) その他その目的を達成するために必要な事業